

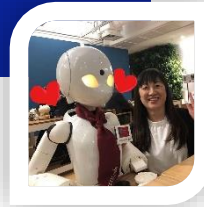
ご挨拶

Open & Welcome

2021. 4. 7

2021 年度がスタートしました

昨年度に引き続き、校長を務めます宮山敬子と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。



学校はいつでも Open & Welcome です！



昨年度は、コロナ禍の影響で新しい生活スタイルになり、例年通りできなくなったこともたくさんありました。

しかし、「やってみよう～できることから一歩前に～」をテーマに、様々な挑戦をする機会にもなり、例年どおりからの脱却のチャンスでもありました。当然のように行ってきた行事も、単純なPDCAサイクルではなく、そこに「何のために？」「本当に必要か？」などの思考や本質的な問い、対話が生まれました。

また、オンラインを含め様々な選択肢を手に入れ、学び方や教え方、働き方も大きく変わるきっかけにもなったのです。

教師自身も初めて向き合うことが多く、学び続ける教師、共に育つ教師、である必要がありました。教育者から共育者への転換期であったと思います。

多

様性を認め、共生社会を目指す現在の社会において、特別支援学校の果たす役割は大きく二つあると考えています。

1

つは、一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育です。子供の可能性を信じ、次々と生み出されるテクノロジーなどの新たな知見や技術、情報を活用し、障害という概念さえ変えていくという気概をもって教育に当たることです。

2

つめは、地域の特別支援教育のセンター的な役割として、特別支援教育の理解啓発、充実を図るための積極的な情報発信と人材の育成などの活動です。将来的には、特別支援教育という概念や支援が当たり前になり、その言葉でさえなくなる日が来るのが理想ですが、現在は、まだ理解啓発を図る必要があります。さらに、子供たちは、「障害がある」ことで、社会生活に不便を感じるが多々ありますので、子供たちと共にどんどん学校の外に出て、その「声」を情報として発信し、ハードとハートのバリアフリー化を進めていきたいと考えています。

今

年度は、「社会とのつながり」をキーワードに、子供たちと教職員一人一人が個性を認め合い、個性が輝く学校、「自分らしく、自分なりの方法で挑戦したり表現したりできる」楽しくておもしろい学校を目指します。教師は、教育者から共育者、さらに伴走者へ。そして、「コミュニティーの一つとしてそこにある。」学校づくりを目指していきます。

ご理解ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

一緒に学校をつくっていきましょう。